

国際会長 ジョセフ・プレストン (米国/アリゾナ州デューイ)



2014～2015年度国際テーマのハイライト:誇りを高める



2014～2015年度、私たちライオンズは、家族である135万人の会員の絆をさらに強め、協調と相互理解の精神のもと奉仕に取り組むことにより「誇りを高める」ことができます。これは得意になって自慢するという意味の誇りではありません。より良い地域づくりに向け成し遂げたことへの誇り、有意義な奉仕を行っていることへの誇り、自力だけでは困難を切り抜けられない人々を助けることへの誇りのことです。この誇らしく思う気持ちが私たちに他者への奉仕を決意させる基となるものを作るのであり、私たちを人道奉仕におけるグローバルリーダーにならしめているのです。これはこれからの1年にわたり、また協会創立100周年を通じて、更には今後100年に及び、成功を収めるための礎となるものです。

奉仕を通じて誇りを高めよう

1917年の創設以来、奉仕は本協会の基盤となってきました。そして2014年、私たちは3年間に及ぶ創立100周年祭を開始し、地域社会への奉仕に対する献身に敬意を表します。

- 100周年記念奉仕チャレンジ: この奉仕の祝祭は2014年7月に開始され、2017年12月に締めくくられます。100周年記念奉仕チャレンジには四つの要素が設けられ、グローバル奉仕実施キャンペーン・プログラムに沿った事業への参加を報告したクラブに対して、特別な表彰が行われることとなります。

これからの1年、クラブはまた、読み書き、飢え、虐待、貧困といった問題に対応する特別なプロジェクトに参加することにより、支援が受けられないでいる恵まれない子どもたちのニーズに対応するよう呼びかけられます。こういった活動に参加するよう、友人や家族を誘ってください。

会員増強を通じて誇りを高めよう

ライオンズの焦点は奉仕ですが、それを行う力は会員と直結しています。うれしいことに過去6年間会員が増えてきていますが、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての役割を維持しようとするのであれば、私たちは引き続き会員を増やしていく必要があります。次の方法で会員増強を推進することができます。

- アスク・ワン (一人誘おう) : 2014～2015年度、会員一人ひとりが少なくとも一人の新会員を招請し、奉仕をしたいという強い気持ちを持っている人の勧誘に取り組むべきです。例えば「誘ってみよう」パンフレットなど、勧誘活動に役立つ資料が用意されています。
- 心構えをする : クラブは新会員を迎え入れる準備を整える必要があります。それによりタイミングよくクラブの承認を得、意義深い入会式と緻密な新会員オリエンテーションを行

うことができます。可能な限り入会式には国際会長、地区ガバナー、元役員、理事を含めることが求められます。

- **どんなクラブにも計画が必要**：クラブは、クラブと地域に合った会員増強および指導力育成計画を立てるべきです。
- **特定の対象に目を向ける**：私たちはあらゆる層における会員増強に努めている一方、女性や若者の入会招請に集中的に取り組むよう、会員に奨励することもできます。
- **クラブを増やそう**：ガイディング・ライオンから得られる支援などを含め、エクステンションに役立つツールや資料を活用し、新クラブを結成しましょう。
- **既存クラブの再建**：問題を抱えているクラブにガイディング・ライオンを割り当て、こうしたクラブの会員増強、運営改善、奉仕拡大において支援をしてください。

クラブを強化することにより、誇りを高めよう

基本に戻り、クラブを強化することにより協会を強化する時が来ました。各クラブには、クラブが行っていることを調べ、クラブの活性化を図るために新たな管理運営方法やテクニックを導入することが奨励されます。目標は、より明確な焦点、進路、意欲、目的をクラブに持たせることです。クラブは、以下のようなさまざまな方法を用いてこれを達成することが可能です。

- 地域社会奉仕ニーズ調査を行って、どうすれば最適な方法で自分たちの地域に奉仕できるかを見極める
- 新会員とのつながりを築くことに力を入れ、そして彼らに家族のように接する
- クラブ向上プロセス（CEP）に参加し、クラブの充実化を図り、クラブにおける会員の経験を良いものにする
- すべての会員がクラブの活動や運営に積極的に参加していることを確実にする
- レオクラブをスポンサーする

リーダーシップを通じて誇りを高めよう

優れたクラブ指導者を育てることでクラブの強化を図ることが可能です。優れたリーダーの育成は、有意義な入会式と適切なオリエンテーションから始まります。それをした上で、クラブは下記の方法でクラブのリーダー育成を促すことができます。

- 新会員が入会したら委員会に配属し、その会員の指導力を伸ばす
- クラブ役員の研修を行い、その職務を全うできるようにする
- 会員オリエンテーション、メンタリング、ゾーン会議参加、その他の指導力育成研修についての目標を含む指導力育成計画を策定する

パートナーシップを通じて誇りを高めよう

同じ志を持った人々や企業・団体と協力し合うことにより、私たちはより多くのことに取り組み、より多くのことを達成することができます。クラブは、相互に利をもたらし、地域の改善につながり、恵まれない人々により良い奉仕を提供できる時には、他との協力関係を結ぶことが奨励されます。

決意刷新を通じて誇りを高めよう

ライオンズ創設者メルビン・ジョーンズは、創設時当初の会員たちに奉仕を誇らしく思う気持ちを植え付けました。100周年を記念する準備を整えるにあたり、ライオンズ創始者に敬意を表し1月13日のメルビン・ジョーンズの誕生日を祝う予定を立て、国際協会の地域および人道支援の方針、目的、原則に対する決意を新たにしてください。

分け与えることを通じて誇りを高めよう

寄付をすればするほど、分け与えられるものが増大します。今年度、すべてのクラブに、私たちの協会の慈善部門であるLCIFへの寄付が呼び掛けられます。

独創力を通じて誇りを高めよう

新たな課題を受け入れ取り組む能力は、ライオンズがこれまでに収めた成功に重要な役割を果たしてきました。私たちの今後の発展を確実なものとするためには、テクノロジーを独創的な形でうまく利用する必要があります。国際協会では強力なオンライン・ネットワークとソーシャルメディアを構築しており、私たちはこれらを活用し、下記のようにして誇りを高めることができます。

- Facebook、Twitter、YouTube、国際協会のブログ、その他のサイトを使う
- クラブ・地区のウェブサイトやソーシャルメディアのページ（Facebookなど）開設を推進する
- クラブが活動を報告し、情報を見つけ出し、誇りを分かち合うことを容易にしてくれるアクティビティ報告やMyLCIといったツールを使用・推進する
- ソーシャルメディアについての知識を増やす機会を利用したり、地区や複合地区の大会、エリアフォーラム、あるいは国際大会でセミナーや研修に出席したりする

勇気と信念を通じて誇りを高めよう

ライオンズの会員は勇気と信念の両方を持っています。ライオンズとして私たちは、声を高らかにしてその存在を知らせる必要があります。私たちがどういった団体であるかということ、つまり、やるべき奉仕があるゆえに、ライオンズはどんな課題があろうともそれを提供しようとする努力を絶対にやめたりしない人々の集まりであることを世界に伝える必要があるのです。

地区ガバナーの皆さん、奉仕、会員増強、クラブ結成、パートナーシップ、指導力育成、決意刷新、独創力、勇気、そして信念をもって全力を注ぐことにより、私たちにはこれまでにまして大声で「ライオンズのローア」をあげる機会があるのです。ご自分の取り組みを調整し、チームと協力し、入手可能な資源を活用して誇りを高めることへの決意をしてください。